

放射線技術部便り

～ vol.7 ～

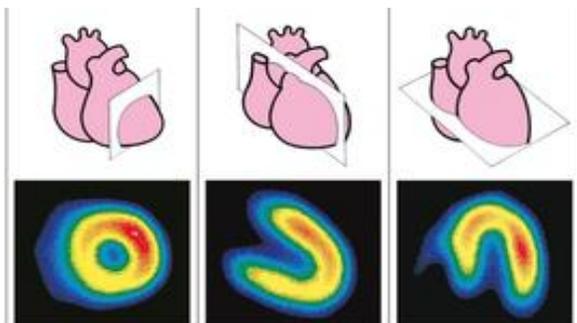
白十字病院 放射線技術部 広報誌



糸島 白糸の滝

～負荷心筋血流シンチグラフィについて～

核医学検査のひとつに負荷心筋血流シンチグラフィ(負荷心筋SPECT検査)という検査があります。この検査では**心臓**の状態や動きを調べ、狭心症や心筋梗塞、心筋症などの病気の有無やその程度を診断します。また、心臓の筋肉に栄養を運ぶ血液の流れ(状態)を見るのに有用な検査です。



心臓の状態を
3方向から確認します

核医学検査とは？

ガンマ線という放射線を放出する**検査薬**(放射性医薬品)を注射(検査によっては内服)し、臓器や病変部に取り込まれた検査薬から放出される微量のガンマ線を**専用のカメラ**で撮像し体内の情報を得る検査です。投与される検査薬から放出される放射線は極めて微量で、副作用の心配もありません。検査薬は、速やかに尿とともに排泄されます。

負荷心筋血流シンチグラフィの検査前注意事項

- ①朝の食事は必ず摂ってください。
- ②カフェインを含む飲み物(コーヒー・紅茶・日本茶など)は検査12時間前から摂取しないでください。(原則、水のみ可)
カフェインが負荷薬剤に影響を及ぼし、正確な検査が出来なくなります。



検査の方法と流れ

1回目の放射性医薬品を静脈注射します



約40分後に1回目の撮像を行います
(専用のカメラを使用します：左写真)



1回目の注射より約2時間後に負荷薬剤と、
2回目の放射性医薬品を静脈注射します

負荷薬剤を注射する時は
医師・看護師・放射線技師
立会いのもと、行います

2回目の注射から約40分後に
2回目の撮像を行います

※検査を受けるためには循環器内科の受診が必要となります。

※検査時間は注射から撮像終了まで約3時間半です。

※負荷薬剤を注射すると、動機・胸痛・めまい・頭痛などの症状が出る場合があります。そのような症状がある場合はすぐに近くのスタッフにお知らせください。

※妊娠中、妊娠の可能性のある女性、授乳中や乳幼児がいる方はあらかじめ医師にお知らせください。

TOPICS

白十字病院は毎年6月頃に行われている、福岡市西区の自衛消防隊屋内消火栓操法大会に参加しています。この大会は、病院や会社等の建物内の消火栓設備を迅速・的確に活用できるよう訓練し、その成果を披露する大会です。放射線技術部だけ



でなく、看護部、臨床検査部、リハビリテーション部、ソーシャルワーカー、事務課の中から一名ずつ選抜され、二つのチームにわかれて出場しました。部門を超えて練習を重ね、本番では準優勝と敢闘賞という結果を残せました！この経験を活かし、病院の安全対策に努めたいと思います！

